



# 福島県農林水産業振興計画 に基づき令和5年度に実現すること

令和5年4月1日  
農林水産部

## 東日本大震災・原子力災害からの復興の加速化

生産基盤の復旧や被災農林漁業者の支援、復興の加速化、風評の払拭

- 生産、加工等が一体となった高付加価値生産等を広域的に展開する産地の創出を支援し、営農再開を加速します。  
【高付加価値産地の拠点施設の整備 1か所】
- 農業用ため池の放射性物質対策を進めるとともに、次世代のきのこ原木林等の整備を関係機関と連携して強力に推進します。  
【広葉樹林再生面積 250ha】
- 水産資源を管理しながら少ない労力で高収益をあげる「ふくしま型漁業」の実現に向けた取組を推進します。  
【ヒラメの種苗放流 130万尾】



広葉樹林再生事業施工地



漁業者によるヒラメ稚魚の放流

## 需要を創出する流通・販売戦略の実践

農林水産物の安全と信頼の確保、戦略的なブランディング、消費拡大と販路開拓

- G A P の認証取得拡大を進めるとともに、G A P への消費者や流通関係者の認知度向上を図り、県産農林水産物への信頼を高めます。  
【第三者認証G A P等を取得している経営体数 1,030経営体】
- 県産花きの地域内利用を促進するとともに、オリジナル品種への改植及び新植を推進します。  
【新たに県産花きの利用を積極的に行う施設数 20施設】
- 大手量販店等での県産水産物の常設棚設置や、県産水産物のブランド力強化や流通拡大を図る実証への支援等により、県産水産物の競争力を強化します。  
【県産水産物の常設販売コーナー 15か所】



リンドウ・カラーの新オリジナル品種



量販店に常設棚設置「福島鮮魚便」

## 多様な担い手の確保・育成

農林水産業の担い手の確保・育成、経営の安定・強化

- 就農支援情報の発信、受入体制の整備や雇用就農に向けたマッチング等により、新たな担い手となる新規就農者の確保・育成を図ります。  
【新規就農者目標数 260名】
- 林業研修拠点「林業アカデミーふくしま」において、担い手の育成や次代を担う新規林業就業者の確保・育成を行います。  
【新規林業就業者目標数 140名】
- 漁業の新規就業に必要な漁船・漁具の導入等を支援します。  
【沿岸漁業新規就業者目標数 10名】



農業短期大学校整備イメージ図



林業アカデミーふくしま長期研修状況

## 戦略的な生産活動の展開

農林水産物の生産振興、産地の生産力・競争力の強化

- 「福、笑い」や「福乃香」等の県オリジナル水稻品種を中心とした多様な米づくりを進めます。  
【福、笑い 作付面積・生産量 約77ha・380t】
- 「ゆうやけベリー」の生産拡大・P R等を一貫して実施します。  
【ゆうやけベリー 作付面積 3ha】
- 担い手育成・販売額向上等の地域のモデルとなる園芸生産拠点の育成を支援します。  
【園芸生産拠点の育成数 4地区】
- AIを活用した肉質評価システムを整備するとともに、優良素牛の導入を支援し、「福島牛」のブランド力を強化します。  
【A I肉質評価システムの活用 1,600頭】



県トップブランド米「福、笑い」



園芸生産拠点のイメージ

## 生産基盤の確保・整備と試験研究の推進

農地集積・集約化の推進、農林水産業の生産基盤の整備、戦略的な品種・技術の開発

- ほ場の大区画化・汎用化と担い手への農地の利用集積を進め、経営規模の拡大を図ります。  
【ほ場整備面積 400ha】
- 「福島ならではの」の価値向上に資するオリジナル品種や、県産農林水産物の旨みや機能性の見える化技術の開発など、本県農林水産業の生産力・競争力強化のための研究開発を進めます。  
【試験研究の成果 35件公表】
- 令和4年3月16日福島県沖地震の被害について、技術・経営面での支援や農林水産関係施設の早期復旧を進めます。



大区画ほ場整備



3Dスキャナ搭載ドローンとAIを活用した森林資源利用システム

## 活力と魅力ある農山漁村の創生

農林水産業・農山漁村の多面的機能の維持・発揮、快適な農山漁村づくり、地域資源を活用した取組促進

- 地域ぐるみで取り組む農地の保全管理等の活動への支援や森林整備の推進など、農林水産業・農山漁村が有する多面的機能の維持・発揮に資する取組を進めます。  
【多面的機能支払事業による農地の保全管理 67,541ha】
- 鳥獣被害軽減のための地域ぐるみでの総合的な対策や、専門職員の確保・育成などの取組を支援します。  
【地域ぐるみでの総合的な鳥獣被害対策 14か所】
- 山崩れ、地すべりなど山地に起因する災害から県民の生命・財産を保護する治山施設の整備を推進します。  
【治山事業 52か所】



鳥獣被害対策の専門職員の活動



治山施設の整備

## 食料安全保障の強化（海外に依存している食料や生産資材への対応）

本県のポテンシャルを活かした供給量拡大・収益力向上による経営の安定化

- 海外からの輸入に依存している大豆・麦・そばの生産性向上・生産拡大の取組を支援します。

【麦・大豆・そばの1ha以上の団地作付面積 3,905ha】

大豆栽培の団地化



- 海外からの輸入に依存している飼料作物の生産性向上・生産拡大の取組を支援します。

【飼料作付面積（畑地） 6,298ha】

子実用とうもろこしの収穫

